

中小企業ぐんま

新春特別企画
業界・組合リーダーの年頭所感

VOL.531
2006.

1



群馬県中小企業団体中央会

〈特集〉

中央会フラッシュ

全国の組合情報 情報連絡員だより インフォメーション

●新年挨拶2

群馬県中小企業団体中央会会長
群馬県知事
商工中金前橋支店支店長
全国中小企業団体中央会会長

曾我 隆一
小寺 弘之
砂土居義博
佐伯 昭雄

- ・連携組織対策事業について知事に陳情
- ・中小企業会計指針を啓発・普及
- ・インドの最新事情を視察
- ・金属プレス加工の技能研修会を実施

●新春特別企画6

業界・組合リーダーの年頭所感

●新年名刺広告14

.....20

.....21

.....22

〈表紙の写真〉利根川から望む県都の初日の出

経済アカサ

短時間正社員制度

短時間正社員制度とは、正社員でありながら労働時間はフルタイム社員よりも短く、給料は働いた時間に応じて支給し、ボーナスや有給休暇なども保障される制度。

厚生労働省の多様就業型ワークシェアリング制度導入検討会議では、このほど、企業に短時間正社員制度の導入を促すことを柱とする報告書を取りまとめた。

同報告書では、多様な働き方の代表例として「短時間正社員」と「在宅勤務」を示している。このうち、「短時間正社員」については、育児や介護のため労働

時間を一定期間短くするタイプと家庭生活や体力面等を踏まえた恒常的に短く設定するタイプに分類し、各タイプについて、制度導入に向けた具体的手順を示している。

また、同制度導入に当たって課題とされる短時間正社員の待遇、昇給・昇格等については、短時間勤務を理由に不利益がないよう、客観的な評価制度の整備や評価する管理職側の教育が不可欠となる。

厚生労働省では、本年3月頃を目途に、企業向けに短時間正社員制度導入に向けたマニュアルを作成して配布する予定であり、企業側にとっては、有能で多様な人材を活用することで企業の競争力を高め、企業運営の効率性向上につなげることが期待されている。



會長 曾我隆一

しかし、中小企業においては、製造業を中心に業況好転の兆しは窺えるものの、依然として原油

加えて、国・地方財政の三位一体改革、政府系金融機関の統廃合、医療制度改革等々、矢継ぎ早の改革議論が展開されており、商工中金の民営化や国庫補助金の廃止及び地方への税源移譲不足による中小企業施策の後退が大きな懸念材料となっております。日本社会の構造改革の中で、中小企業の存在意義と生き残りの方策が問われていると言つても過言ではあり

本会は、今年、創立五十周年の節目の年を迎えます。これを機に中小企業が直面している厳しい現実を更に直視し、中小企業が組合等の連携組織を活用することによって、経営資源の補完を図り、経営革新を遂げ、健全な発展を続けられるよう、役職員一同全力を挙げて事業の充実強化に取り組んでいく所存であります。今後共一層、県ご当局を始め、関係各機関のご支援並びに会員の皆様のご協力をお願いする次第であります。

本年もまた、激しい変革の年となりそうですが、景気回復が中小企業にも波及し、変化の中に新たな発展の機会を見出すことによつて、明るい展望のもとに、希望をもつて事業に邁進できる年となりますよう祈念申し上げ、年頭のご挨拶いたします。



三位一体改革により、平成十八年度より国庫補助金が全額廃止され、県に移譲されることとなった。新たにスタートすることから、多忙の中、小寺知事に都合をつけていただき陳情を行った。知事からは「国の経済は大企業のみで成り立っているわけではない」などと中小企業に対する温かいご理解をいただいた。





年頭のあいさつ



群馬県知事

小寺弘之

明けましておめでとうございます。皆さまには輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

二十一世紀の扉が開かれて五年。群馬県では、これまで努力を積み重ねてきたことや、全国に先駆けて取り組んできたことが着実に実を結びつつあります。

昨年、尾瀬保護財団が設立十周年を迎えるとともに、尾瀬がラムサール条約締約国会議において国際的に重要な湿地として登録されました。群馬交響楽団は、音楽を通して私たちに夢と希望を与え続け六十周年を迎えました。いずれも県民の皆さんに支えられ大きく

育っています。

県内経済は全体としては回復基調にあり明るい方向に進んでいます。景気回復を実感できない中小企業もあります。私はこうしたところにも光が当たるように配慮してまいります。また、本県財政状況は国の三位一体の改革などにより、依然として厳しい状況にありますが、理事制の導入や県民局の設置、職員の削減など行財政改革を加速させながら、県民生活に密着した事業を積極的に進めていきます。

私は、昨年十一月に台湾で開催された台北国際旅行博に日本側代表として出席し、県内観光関係団

体の皆さんとともにトップセールスを展開してまいりました。四季の変化に富んだ景色や温泉、雪など、群馬の素晴らしい台湾をはじめアジア各国から注目を集めています。このほか県内には、名所旧跡や博物館、美術館、そして県立ぐんま天文台や昨年オープンした県立ぐんま昆虫の森など多くの観光資源があります。点として存在している資源を線で結び、さらに面的な広がりを持たせ、県全体の魅力を高めていきたいと思っています。

四季折々の美しい自然や着々と建設が進む北関東自動車道、災害も少なく農産物も身近で生産されるなど、群馬県は人が暮らすのに大変豊かな地域です。また、合併も進み四月には三十九市町村となるなど新しい群馬の姿ができています。

群馬の素晴らしいさを育て、自然環境と都市の利便性を享受できる二十一世紀の新しい群馬県を、県民の皆さんと一緒に考え、つくっていききたいと考えています。

今年一年が、二百万県民の皆さんにとって健康で幸多き年になりますよう心からお祈り申し上げます。

中小企業会計指針を啓発・普及

十二月十三日に前橋市・マリーキュリーホテル、同十六日に太田商工会議所会館において、「中小企業会計指針の活用方法」をテーマにセミナーを開催した。



中小企業の会計処理については従来からいくつかの基準があり、中小企業庁も参画してその統一が検討されていたが、昨年八月、「中小企業の会計に関する指針」が公表された。

セミナーでは、税理士の塚越正司氏が講師となり、指針の内容を把握し活用を図っていくための手法について解説を行った。



商工中金前橋支店

支店長 砂土居 義博



新年明けましておめでとうございます。

平成十七年の新年を迎えるにあたりまして、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶にさせて頂きます。

国内経済は昨年以降、いわゆる「踊り場」を迎え、中小企業の皆様にとっては方向性のはっきりしない状況が続いてきました。最近では、踊り場を脱却し、景気は拡大方向に向かいつつあるというコメントも見られますが、現場の中小企業の皆様にお聞きしますと、なかなか景気回復が実感できない、という声が多く聞かれます。一方では、原油や原材料価格の高騰といった現象も見られますし、こうした局面を見ましても、現在は、なかなか先の見えにくい、かつ変化の激しい混沌とした時代に

なりつつあると思っています。

『莊子』内篇の応帝王篇に次のような話があります。天下を治める最高位の皇帝、混沌（渾沌）皇帝がいた。この混沌皇帝は、顔のつぺらぼうで目鼻もない。そこで皇帝の下国王これは臣下になるわけですが、それが混沌皇帝に顔の穴を作ってあげようと。我々の顔は七つ穴があるわけですが、一日に一つずつつくっていった。そうすると七日目になって、ちょうど七つ目の穴をあげたら、混沌皇帝はそのまま死んでしまったという話です。つまり、この世の中は混沌としているのがその本質であって、人間の知恵等でそれを体系づけようとか秩序立てようとしても無理だというのがこの話の真意ではないかと思えます。したがって、今は整理しにくい、体系づけがしにくい世の中ですけれども、実は目鼻をつけることは必ずしもいいことではないかもしれません。混沌こそ本質だと、腹を決めていかなくてはいかん世の中かもしれません。

現在に求められているのはまさに世界の秩序がどうあるかということよりは自分自身の足元を見直して、それで自分自身の社会のあり方、企業のあり方、人間のあり

方を考え直すことが求められているのではないか、と思えます。

また、このような混沌とした時代では、世界は見えないし歴史も見渡しにくい。だとしたら、見えるのは足元ではないか。そこでしっかりと生きようではないかという生き方がありうると思います。

このような混沌とした時代に重要なのはとどのつまり「人」ということになるのではないかと思います。元来、あらゆる経済活動の中心にあるのは人であり、歴史を動かすのも最後のところで気概をもった人であると思います。そういった意味では、本来コミュニケーションの道具であるはずのインターネットやパソコンなどに人が振り回されている現実をやや危惧するところでもあります。

終わりに、皆様のご健勝を祈念しつつ、新年のご挨拶といたします。



インドの最新事情を視察

十一月二十日～二十六日の七日間の日程で、成長著しい巨大市場とIT産業の急速な躍進で注目されるインドの視察研修を実施した。

二〇〇六年に中央会創立五十周年を迎えるにあたり、そのプレイベントとして実施したもので、インド最大の商工業都市ムンバイ(旧ボンベイ)及びオーランガバードを訪問。インド貿易振興局との懇談会や現地企業の視察を行うとともに、世界遺産であるエローラ、アジャンタの石窟群にも足をのぼし、現地の最新事情の見聞と壮大な歴史を体験する視察研修となった。





全国中小企業団体中央会

会長 佐伯昭雄



明けておめでとうござい
ます。

平成十八年の年頭に当たり、全
国の中小企業の皆様並びに中小企
業組合等中小企業団体の皆様に謹
んで新年のご挨拶を申し上げます。

顧みますと、昨年の我が国経済
は、全体としては明るさが見えてき
たと言われたものの、原油価格の高
騰や海外経済の動向など、先行き
不安定要因を抱え、長期にわたる
デフレの影響等により、地域中小企
業をめぐる経営環境は依然として
厳しい状況下で推移いたしました。

そのような中、三位一体改革に
より平成十八年度より中小企業関
係の都道府県向け国庫補助金廃止
と都道府県への税源移譲が決定さ
れ、また、政策金融改革により商
工中金の完全民営化の基本方針が
決定されるなど、特に、地域中小企

業に大きな不安を与える状況が現
出するなど、依然として先行きが見
えない極めて厳しい状況のまま新年
を迎えることとなりました。

一日も早く景気回復の効果が広
く我が国全体に及ぼされ、中小企
業が元気を出して頑張れるような
政策展開が何よりも求められてお
り、また、全国の中小企業がどの地
域においても政策支援が受けられ
よう万全の措置が採られることが必
要不可欠であります。

このような状況下、今まさに、中
小企業組合等中小企業団体が果た
すべき役割に対する期待はますます
す大きくなつてきております。

例えば、国を挙げて世界最高水
準の科学技術創造立国の実現、と
りわけ、産学官連携の強化が重要
課題とされる中、これを広汎に推進
していくためには、より多くの中小
企業が大学・研究機関や地元の自
治体との連携を大きく進めていく
必要があり、その際、中小企業組
合を連携の中核に位置づけることが
極めて有効であります。

また、我が国の製造業の国際競
争力を支えているまさに国の礎であ
る中小製造業（サポーター・イン
ダストリー）に対する新たな総合的
支援施策の展開が期待されること
であり、その際、中小企業組合等の

連携組織がリーダーシップを発揮
し、積極的に役割を果たしていくべ
きであると考えております。

さらに、自然災害などの不測の事
態が発生した場合の事業の継続性・
早期復旧を担保するための「事業継
続計画（BCP）」策定の必要性が
叫ばれておりますが、相互扶助の精
神に基づく中小企業組合こそこれ
を担っていく組織としてふさわしく、
今後の積極的な取組みが期待され
ております。

今年こそ、日夜懸命な経営努力
を続けている中小企業が報われ、希
望の光が燦々と差し込む年としたい
ものであります。

全国中央会は、中小企業組合運
動の中核的組織体として、四十七
都道府県中央会とともに、全国四
万を数える中小企業組合等中小企
業団体と一層連携を深め、中小企
業の皆様のご期待に応えるため、そ
の先頭に立つて全力を傾注して参る
所存であります。

中小企業組合等中小企業団体の
皆様におかれましては、中小企業の
発展のため共に力強く邁進いただ
きますようお願いいたしますととも
に、本年が皆様にとつて明るい年と
なりますよう心からご祈念申し上げ、
年頭に当たつてのご挨拶といたし
ます。

金属プレス加工の 技能研修会を実施

十二月十七日・十八日の両
日、群馬県立前橋産業技術専
門校の施設を利用し、富岡市
の西毛機械工業（協）を対象に
「ものづくり基盤技術力強化
事業」の実技研修を実施した。



当事業は、企業の若手従業
員を中心とした参加者に対
し、事前に三日間に亘る座学
研修を実施し、それを踏まえ
て金属プレス加工の二級技能
検定合格を目指した実技研修
を行ったもの。一級技能士で
元技能検定委員である大澤茂
氏、新井明光氏の二名の専門
家により、技能検定しながら
の実技指導が行われた。

業界・組合リーダーの 年頭所感 2006

新年を迎え、業界並びに中小企業組合リーダーの皆様へ、業界の現状・新年の展望・決意などについて、ご寄稿いただきました。

—順不同・敬称略—



製造業

群馬県コンクリートブロック事業協同組合

理事長 町田 錦一郎

紅梅に積りし雪は染めりけり。
一新のひかりの中に雄気、希望と
畏怖を抱きつつ、新年明けまして
おめでとうございます。

中央では株式市況、大企業、メガバンク等の絶好調の景況が連日のように囃されており、地方の我々は一抹の寂しさと孤独感、嫉妬心を感じつつ、ウェーティング・サークルで出番をうかがい、じりじりしながらも満を持している状況ではないでしょうか。

いよいよデフレ脱却も確かな視野に入りつつ、緩やかながらも持続的な上昇局面に向かおうとしている認識といえましょう。

我々は大企業仕様には及びもつきませんが、その抛って立つ基盤に依じて、独自の振舞いと「立ち位置」を探索し、設定が急がれます。

そして立ち向かう方向性のキーワードとして「ステークホルダー」

という概念にいきあたります。

ここで想定するステークホルダーとは企業の従業員、取引先、顧客、地域社会を指します。これらがWin-Win（関係者相互に有利で得をすること）の持続性のある関係性を築いていくことができれば、我々の将来にも確かな光が見出されるのではないのでしょうか。

さあ、目標が定まりました。勇往邁進、自己を信じ、成熟化社会ものかは、対応するべく全力でぶつかってまいりましょう。

最後に、今年一年が皆様にとつて、画期の年となりますよう、心より願うものであります。

伊勢崎南工業団地協同組合

理事長 細木 栄

昨年この国の経済は海外需要と設備投資の伸びや、円安・株高等に支えられて大企業を中心に、景気は緩やかに回復基調にあると政府・日銀は申しておりました。しかし、我々中小企業の業況は「一進一退」のなかで、改善の兆しが

みられるものの、明るさがやや強調されながら、実感として湧かぬままこの年明けとなりました。今年は改革の年といわれています。我々モノづくり産業も経営革新・IT・環境等の取り組みから、人材育成・技術改革（革新）・技術の伝承・情報への挑戦等、益々厳しい時代に入りました。しかし、私達は一致結束して技術そして情報交換を大切にして生き残りをかけ努力する所存です。

太田機械金属工業協同組合

理事長 吉川 彰 充

昨秋には、経営不振の米ゼネラル・モーターズ(GM)が保有する富士重工株をトヨタが取得し、資本提携することが発表されました。両社の具体的な業務提携内容は今のところ定かでないが、提携後の第一弾として、富士重工米国工場（インディアナ州）で、トヨタ車を委託生産することが合意されました。富士重工は、太田市の基幹産業の中心であり、これらのことが将来的に地域企業の経営安定化につながればと考えています。

本組合は、平成十六年度から三カ年継続事業として、組合活性化を目指して「中小企業人材確保推進事業」に取り組んでおり、今年は最終年度であるため、この事業の効果的推進を図るべく、組合員に事業への率先参加を呼びかけ、組合員企業の活性化と持続的繁栄に努め、さらに、組合の発展に結びつけていきたいと考えています。

桐生織物協同組合

理事長 柿沼 洋 一

昨年を顧みますと、世界各国でテロ事件や自然災害、我が国での列車事故など暗いニュースの多い一年でありました。そんな中で、衆議院議員選挙において、自民党の圧勝でありました。組合を核とした中小企業への諸施策が更に適切により力強く実施されることを期待するものであります。

桐生織物業界は、長引く景気低迷からの脱却を図りつつ、今こそ永年培われた技術、技法を最大限に発揮し、時代を見極めながら積極的に産地振興を実施し、この難局を乗り越えていく所存であります。

ですので、より一層のご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとって、一段の飛躍の年となりますようご祈念申し上げます。

群馬県生コンクリート工業組合

理事長 小林 美知夫

我々生コンクリート産業は、公共事業の依存度が高く毎年事業費が削減されており、今後も公共事業の伸びは期待できないと我々も認識しております。

このような状況のなか、組合として取り組まなければならないのが集約化であります。毎年出荷量の減少が続いており今後も出荷量が増えることは難しいものとおもわれ、適正運営をして行くためには難しい問題ではあるが避けて通れない道であり推進して行く所存であります。

今後も、産・官・学で構成されている品質管理監査会議とともに顧客のニーズにあった品物を提供してまいりますので、本年も昨年同様厳しいことと想定されますが、組合員一同地域社会発展のため

めに取り組んでいく所存でございますので、一層のご指導をお願い申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝、ご発展をご祈念申し上げます新年のご挨拶いたします。

前橋機械金属工業協同組合

理事長 吉田 勝彦

景気は「踊り場状態」を脱し、回復基調にあると言われております。しかし、今後の経済政策如何では、不透明感は否めません。原油高・増税・若年労働力不足・労働法制の強化改正・政府系金融機関の統廃合等列挙すれば限りなく存在しますが、いずれも経営のマイナス要因に繋がるものばかりです。又、グローバル経済下における親企業の動向等にも目が離せません。

今こそ拠って立つ経営基盤を再度直視し、経営資源の「棚卸し」により、自社の強みを発揮し、深耕作戦・新分野進出等に果敢に挑戦していく以外にありません。よく「政治の世界は、一寸先が闇である」と聞きますが、今や経営の世界とて同様です。今こそ国際感

覚の視点で自社の情報力を高め、
「脚下照顧」での確な判断のもと
経営を行なっていく時代であると
認識したいです。

群馬県パン協同組合

理事長 小此木 博

パン業界におきましては消費者
保護の観点から「食の安全安心」
が声高く叫ばれ、食品業者に対す
る品質管理・衛生管理のハードル
が高くなつてきて、必然的にコス
トアップに繋がっております。生
き残っていくためには、リテール
で創意工夫して、技術力、販売力
を駆使して、どのように商売を行
うかであります。「リテールベ
ー」等検討委員会」を発足させ、
①技能資格制度、②接客サービ
ス、③マネジメントに分けて諸問
題に取り組んでおります。「品質
の良い美味しいパンの提供」を目
指して努めてまいりますので、関
係各位の皆様のご指導・鞭撻を心
よりお願い申し上げます。



高崎機械工業協同組合

理事長 金子 正 元

今年、平成十八年、高崎機械工
業協同組合では創立五十周年を祝
います。

最近痛感していることですが、
自分が世の中の一員であるという
意識が希薄で、自分のことしか考
えず、自分さえ良ければ良いと考
える人が増えていると言うこと
です。最近の不祥事を見ると、根本
的に世のため、人のためと思う感
性が薄らぎ、昔からの考え方が古
いと決めつけてかかる考え方には
問題があります。

私も会員は、少なくとも先輩
の築いた五十年のその時々、世
のため、人のために努力されたこ
とに感謝の気持ちを持ち、今後の
組合運営に活かしていく所存で
す。

知的財産が大きく取り上げられ
ているこの頃、一番大切な財産は
人材であり、企業人として持つべ
き資質として、常に状況の変化に
備えた戦略を持つことが大切であ
り、その意味で創立五十周年を大
切にしたいと思っています。

群馬県印刷工業組合

理事長 吉田 吉太郎

当組合では、組合員の相互理解
と共生・共創を基本にした活動を
着実に推進し、特に経営環境の変
化に対応、努力したいと思っています。

著しい需要減と価格破壊問題は
業界全体の基盤を浸濁しての構造
的かつ重要な課題となっています。

組合の集団力をもとに、様々な
情報と共創ネットワークを生か
し、各社の特性を共益とした業界
印刷人及び関係支援のもとに、業
界活性化の初年度と致したいと念
願しています。

連携をもとに、経営財務原価の
再認識を行い、社員共々の各社の改
善を強化し、足腰の強い企業構築に
運動を促進したいと存じます。

組合にも限界がありますが、次
なる成長への道を拓きたいと考え
ています。

群馬県漬物工業協同組合

理事長 籠 島 正 直

平素は関係官庁ならびに業界の
皆様方には、格別のご支援ご協力

を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、長期にわたり低迷を続け
ていたわが国の経済も、夏場の政
府の踊り場脱却宣言後も、景気は
引き続き回復感を強めているよう
に思われます。

食品業界におきましては、低価
格競争による販売単価の下落、そ
の一方で物流費、エネルギーコス
トといった諸経費コストの上昇が
顕著であるなど、依然として厳し
い状況が続いております。

価格低迷に苦しみ、過度の競争
により企業体力が消耗している昨
今、体力勝負ではマーケットが
シュリンクしていくことは明らか
であり、品質競争に転じていく努
力が必要だと思っています。

時代の流れとともに消費者の
ニーズも変化し、また要望も多様
化してきております。業界の活性
化は需要喚起にかかっており、こ
れを実現するためには、いつの時
代でも変わることのない食品メ
ーカーの基本的使命に立ち返り、商
品力のある品質の良い商品、消費
者のニーズにあった魅力のある商
品を提供することだと思います。

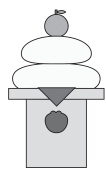
業界が直面する課題は、まだま
だたくさんありますが、一丸とな

り共に努力してまいりましょう。
皆様方のご健勝と事業のご発展
を祈念いたしまして、新年のご挨拶
とさせていただきます。

群馬県製麺工業協同組合

理事長 永井 巖

昨年は、景気回復もいよいよ本
物ということから株式市場なども
活況を呈してきました。しかしな
がら、われわれ製麺業界の状況
は、残念ながら、相変わらずの感
は否めません。加えて、燃料・諸
資材価格の高騰や、表示・食品安
全といった観点からのさまざまな
経費増もあり厳しい状況です。業
界といたしましては、伸び悩んで
おります麺に対する需要を喚起す
るための消費拡大運動に力を入れ
ていく必要を強く感じておりま
す。本年も、組合員の経営安定の
ため、中央会や関係する行政・団
体の方々の変わらぬご指導を切に
お願いする次第です。



群馬県菓子工業組合

理事長 小林 大治

昨年を振り返って見て驚きの一
つに、人口減少時代に突入という
言葉を聞いたことです。欧米ナ
イズされた生活の中で、生活習慣病
の若年化、糖尿病予備軍の増大
等、日本の将来はどうなるんだろ
う、大きなショックでした。そこ
で、子供達の成長過程に大きな影
響を持つ業界としては、産業や企
業の枠を超えて多くの人々に協力
をお願いしながら、菓子の主原料
である砂糖は脳にとって大切な栄
養源であり、決して健康に害を与
えるものではないということをし
っかり知って頂きたいと思ってい
ります。

低カロリー低脂肪を菓子作りの
モットーとして、健康志向に込め
るために消費者が安心して買える
地元の農産物材料を使う地産地消
を推進して行き、お菓子を通じて
全ての子供達を元気に健康にした
いというメッセージをこの紙面を
通じて発信したいと思っていま
す。

非製造業

群馬県ビルメンテナンス協同組合

理事長 永井 克弘

平成十八年を迎え、今年は何ん
な年になるのか、一抹の不安を覚
えながら希望に満ちた年であつて
欲しいと願っています。

さて、昨年度は当組合にとって
も大変重要な年でありました。い
わゆる指定管理者制度です。

業界がこれからどの方向に行く
のか判断に苦しんでいるところで
す。これがチャンスか否かは各企
業の取り組み姿勢と力により結果
の明暗が分かれます。中々厳しい
状況の中で色々反省することがあ
りそうですが、良い試練として受
け止め乗り越えたいと思います。
新しい年が中央会の会員企業の
皆さんにおかれましても難しい時
代になると想えますが、無事に
共々乗り越えたいと思っていま
す。

中央会の益々の発展と会員企業
のご隆盛を祈念いたしまして、年
頭のご挨拶と致します。

関東遊技機リサイクル事業協同組合

理事長 川嶋 淳

本組合は、昨年四月に認可され
たばかりで、目下業務の定着化に
努力しているところです。

本年の推進目標としては、第一
が排出遊技機を資源化としてその
有効利用を促進し、社会環境の保
全に努めていくこととしておりま
す。第二には、排出遊技機の解体
作業を身障者に提供して、多くの
身障者に働く意欲と自立心を持た
せるなど、社会福祉に貢献してい
くことであります。昨年十月に施
行されました「身体障害者自立支
援法」にも符合するものです。

本年は、以上二点に重点を置いて
推進して参りますが、業界皆様
のご支援をいただきながら目標達
成に努めて参りたいと思えます。



群馬県貨物運送事業協同組合連合会

会長 大野 孫一

「昨年、燃料価格の高騰、環境・安全規制の強化によるコストの上昇、軽油引取税をはじめ自動車関係諸税の重い負担に加え、運賃水準の低迷や規制緩和による競争の激化等、当業界の経営環境は極めて厳しいものでした。」

特に、原油価格高騰に伴う軽油価格の上昇は、運賃への転嫁が難しい状況であり、健全な経営の維持や安全運行の確保のために必要な適正運賃の収受については、業界を挙げて取り組んでいるところです。」

当連合会では、教育情報事業を中心に、関係機関・団体と連携を図りながら、諸事業を実施したいと考えています。」

「本年も皆様方のご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。」

群馬県商店街振興組合連合会

会長 糸井 良一

「昨年はゆるやかな景気回復が見込まれましたが、これは大企業及

び製造業の一部に限られ、中小企業を取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況が続いています。」

特に、中心市街地の商店街は、全国的ではありませんが郊外に大規模のショッピングセンターが続々と出店をしており、まだまだその傾向は続いています。」

現在、日商、全国中央会、全国商工連、全国振興連の四団体で大店立地法の見直しを政府及び関係機関に働きかけ、多少改正されようとしています。より一層の強い規制を願っています。中心商店街は、その都市の長い歴史・文化・商業を支えてきた街の顔であります。当然、我々も消費者にあつたニーズを取り上げ、努力していかねばならないと考えております。」

「終わりに、皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。」

高崎卸商社街協同組合

理事長 岡村 晶夫

「昨年は小泉劇場、耐震強度偽装問題、株価一万五千円台回復等、社会経済に様々な出来事が続く一方、あらゆる面で変革が進みまし

た。流通業界においても勝組、負組等に象徴されるような格差が拡がりつつあり、今年も厳しい状況が予想されるところであります。」

当高崎卸団地Ⅱ問屋街も周辺環境、流通構造の変化等影響を強く受けております。こうした中で、地区計画が施行され二年、高崎問屋町駅が開業して二年、組合運営面での変革を経て二年が過ぎ、新しい局面に入りつつあります。このため組合員一同協力してより一層、業界発展に寄与してまいりたいと考えております。」

「本年も変わらず一層のご指導をお願いいたします。」

群馬県柔道整復師協同組合

理事長 櫻井 弘

「本組合は、今年設立十周年を迎えます。偏に、中央会様をはじめ関係各位のご指導、ご支援の賜と感謝を申し上げます。また、お蔭様をもちまして順調に運営し伸展をしております。重ねてお礼申し上げます。」

さて、業界を取り巻く環境は、規制緩和、自由競争ということで養成学校の乱立により、極めて厳

しい時代に入りました。組合員と共に一致団結して、この難局を打開していく所存です。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。」

群馬県火災共済協同組合

理事長 田部井 俊勝

「当組合の共済事業につきまして、日頃格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。」

さて、当組合では万一の際の保障だけでなく、組合員ご家族皆様の幸せづくりのため、お役に立てる商品開発と、心のこもったサービスをお届けできるよう本年も努力を重ねてまいりますので、何卒昨年同様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。」

年頭にあたり、群馬県中小企業団体中央会会員の皆様にとりまして新たな躍進の年となりますよう心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。」



群馬県自動車車体整備協同組合

理事長 松田源治

車体整備業界を取り巻く厳しい環境の下で健全な発展を図るため、業界として事故破損車両修理後の検査の必要性を行政当局に提唱するとともに、自動車リサイクル法による法的資格を取得した解体業者と提携し、修理可能な部品を修正するなど循環型社会形成への寄与、新技術や新機構採用の自動車に対応する車体整備新技術者の育成と整備士資格取得の促進など諸施策を推進しております。これらを推進していくためには、組織の拡充および安定強化を図ることは勿論のこと、業界一体となった協力的体制が必要であり、指導力はもとより地方および中央間の連携を一層強化し、業界全体の健全な意思疎通を図ることが肝要であると思います。本年も組合は、車体業界と一体となつてこれらの諸施策を取り入れるとともに、身近な事業活動を実践する所存であります。

今後とも関係機関各位のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

社団法人群馬県信用組合協会

会長 峯崎光男

昨年の県内経済は、全体として回復基調にあったものの、中小零細企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような中、信用組合業界は昨年、新たな金融改革プログラムの下で公表された「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクション・プログラム」に基づき顧客との間柄を重視した地域密着型金融の機能強化と一層の推進のための新たな計画を策定しました。同計画に基づき、さらなる地域経済の活性化と経営の健全化を図るため、中小零細企業への融資、特に個人向け融資の推進を最重要課題として役員一体となつて精力的に取り組んでまいりました。本年も引き続き中小零細企業者への支援と勤労生活者の生活向上支援などに努め、地域社会に貢献して信用組合の特性を発揮していきたいと考えております。

群馬県旅館ホテル生活衛生同業組合

理事長 入内島一崇

当組合は、観光団体の一員として誘客宣伝事業と相俟つて、お客様が安心できる宿づくりを年頭に諸般の事業を展開しています。

昨年は、厳しい経営環境を跳ね返そうという思いから国際観光の振興を積極的に推進しました。

特に、十一月に台湾で開催された国際旅行博は、小寺弘之群馬県知事の現地訪問によるトップセールスが実現し、大きな盛り上がりを見ました。また、この出展に併せて新潟県との共催により、「国際観光振興交流会」を台北市で独自に開催し、新潟空港を玄関とする本県への外国人観光客の誘致促進に努めました。

今後とも観光立県に向けて、さらに組合員が強く団結し、活動して参りたいと思います。

群馬県トラック事業協同組合

理事長 武井宏

物流の九十一%以上を担うトラック輸送業者は環境への影響を

出来るだけ少なくする努力を業界あげて取り組んでいます。この様な中、世界的原油の高騰による燃料費の大幅な上昇は、自社での経営努力ではコスト吸収は厳しく、安全輸送、省エネ対応に最大限努力しています。お客様へのご理解ご協力をお願いする次第です。

当組合は組合員のための共同事業を通じ、五十余年の実績を基に効率的経営向上に努めるとともに、昨年から「顧問制度」を採り入れ、弁護士、税理士、社会保険労務士、三名の顧問に就任頂き、コンプライアンス経営の実践と困った時の相談窓口を開設致しました。

組合の役割機能を再構築し、組合員各社の経営環境を様々な面から支援し、社会的責任を達成するために組合活動を推進して参ります。

今後とも関係機関各位のご指導ご協力をお願い申し上げます。

群馬県自転車軽自動車商協同組合

理事長 武田昭三

昨年五月の総代会に於いて理事長に就任致し、その責務を果たしつつ無事新春を迎えることが出来

ました。皆様の適切なご指導とご支援の賜であり、心より感謝を申し上げます。

さて、最近の自転車をめぐる諸情勢に鑑みますと環境にやさしく健康的で便利な乗り物として広く愛され、利用者が増加している反面、自転車事故が激増しております。毎日安心して乗れる交通社会を実現する諸施策を展開し、自転車に対する信頼回復や利用価値を高めることが、関係する組合の責務であり、業界活性化になると確信しております。関係官庁、関係団体におかれましても絶大なるご支援・ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

群馬県不動産事業協同組合

理事長 新野 節郎

顧みますと昨年は、株価が堅調で経済もやや上向いており、地価は東京等で下げ止まり傾向で上昇地点も広がりつつあります。県内は市中心部のマンション建設が目立っておりますが、地価の安定化には至っておりません。地方経済を活性化するためには、「株価上昇」に加え「地価の安定化」が必

要です。昨今、不動産と金融の融合が進み、「REIT」(日本版不動産投資信託)・私募ファンド等の不動産投資市場・証券化事業が堅調で

すが、住宅金融公庫の「フラット35」は、最長三十五年長期固定金利の住宅ローンとして利用が拡大しており、昨年十月一日より組合員の店舗においても全宅住宅ローンの取次店として取り扱いが可能になりました。これら不動産業を取り巻く状況の変化に組合員が迅速に対応できるように、組合員の指導に努めてまいります。

皆様方の益々のご健勝とご繁栄を心より祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

群馬県電機商業組合

理事長 濱川 祐作

昨年十二月より本県でも地上デジタル放送がスタートしました。

デジタル放送は、高画質・高音質ばかりでなく、データ放送や双方向サービスなども受けられるより便利なテレビです。そして、二〇一一年七月には現行のアナログ放送が停波され、デジタル放送未対応のテレビではテレビ放送が見

られなくなり、まさにこの五年半はデジタルテレビへの買い替えという大きな需要が見込まれる期間でもあります。

我々地域電器店にとって千載一遇のチャンスです。しかしながら、メーカーシェア争いや大型量販店、ディスカウンターの安売り販売競争で市場価格が混乱していることも事実です。

しかし、デジタルテレビは、セッティングなど従来のテレビと異なり、難しい面も沢山あります。今こそ日頃積み上げてきた経験と何回となく実施してきたデジタル勉強会の知識を生かし、地域電器店の復活を図りたいと思います。

協同組合前橋問屋センター

理事長 森 本 仁

当組合は、昭和四十年七月、市内に散在する中小卸売業者が直面する店舗・倉庫の狭隘化、駐車難等の諸問題を解決するために設立され、昨年節目の四十周年を迎えました。

近年の中小卸売業を取り巻く経営環境は、大手企業のコスト削減に向けた合理化や、安価な海外製

品の流入等流通構造の変化により、今日大きな転機に立たされております。

こうした中で、中小卸売業が今後とも発展していくためには、既存事業の見直しの中で、情報技術革新による合理化の推進、物流機能の効率化、並びに団地の活性化やリニューアルへの取り組みを始め、経済社会の構造変化に対応した積極的な経営革新に挑戦することが不可欠と考えております。

今後とも関係機関各位のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

群馬県管工設備協同組合

理事長 中西 保

日本経済は大企業を中心に収益の大幅な改善や個人消費、設備投資などの底堅い拡大により踊り場を脱し緩やかな成長が続いているといわれています。一方、我々の業界は、依然として公共事業の縮減等により厳しい経営環境が続いている状況です。

当組合では、今年度から既存の委員会の他、新たに二つのプロジェクトチームを立ち上げました。一つは、官公需共同受注事業

と指定管理者制度に対応するため
の検討委員会、もう一つは、資材
の共同購入についての検討委員会
です。それぞれが今重要な課題で
すが、今後十分に研究・討議し、
可能性に向け会員皆様のご期待に
添えるよう頑張っていく所存で
あります。

中央会の益々のご隆盛を祈念
し、本年もよろしくお願い申し上
げます。

群馬県石油協同組合

理事長 赤 尾 丈 衛

昨年来の急激な原油価格の高騰
は、地域経済のみならず日本・世
界経済に大きな影響を及ぼしまし
た。

このような状況下、ガソリン
スタンド経営は「量から質」への転
換が叫ばれております。

組合として、石油製品の安定供
給と消費者の方々から信頼される
ためのサービス向上に努め、更な
る業界のレベルアップを図ってま
います。

又、ガソリンスタンドを拠点と
する「かけこみ一〇番」や車の
無料安全点検など継続した活動は

定着し、その役割・貢献度は高く
評価されています。

本年も組合員相互の強力な連携
のもと、経営の安定を図るととも
に、地域への貢献となる活動を進
めていきたいと考えております。

群馬県電気工事工業組合

理事長 関 口 慶 也

昨年五月に、群馬県電気工事工
業組合の理事長の大役をお受け致
しましたが、既に七ヶ月過ぎまし
た。その間、組合運営が当初の事
業計画と合わせて、新しい試みも
含め、諸事業が滞りなく進められ
ておりますことは、群工組役員の方
々を始め、組合員の皆様のご理
解とご協力があったからこそと心より
感謝申し上げます。

就任の折に今後の組合の在りよ
うを考えた時、公平性と透明性を
基本に据えた組合運営による組織
の活性化を図り、組合員のための
組合づくりを目指すとし上げてま
したが、毎日その様に心掛けて
励んでおります。昨年、十一月の

全日電工連の大会では、工事品
質、調査業務品質の向上、住宅電
気工事センターのサービスの向上

による充実、更には保守管理業務
と合わせた提案型技術営業の推進
による生涯顧客の獲得等がかかげ
られました。これら三点の特長を
合わせて見ると、従来の下請け業
者から専門業種の元請になること
だと理解しております。

電気工事は、物づくりでありま
すが、これからは、物売りの心を
内に持つて、物づくりをすること
が必要になってくると考えます。
受注にどう心を砕いていくか、気
配りをするかが大事になってくる
と思われまます。

これまで群工組の活動と運営方
針を述べて頂きましたが、今
年も中央会皆様のお知恵、ご意見
を戴き、皆様にご協力をお願いし
て、組合活動を着実に実施してい
きたいと考えております。

どうか良い一年になりますよう
に皆様のご健勝と、各企業のご発
展とを祈念申し上げ、ご挨拶と致
します。

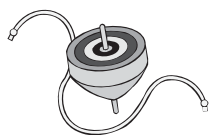
群馬県中古自動車販売商工組合

理事長 野 村 隆 二

新車販売の低迷から、中古車市
場もその影響を受け、仕入、販売

両面から厳しい状況が続いており
ます。中古車輛の仕入れ、下取り
車の売買の場としてのオークショ
ン市場もユーザーの車乗換えサイ
クルの長期化、低年式、低価格車
輻の増加の中で営業内容も苦戦を
強いられております。しかし、近
年海外輸出の増加に伴い、外国人
バイヤーによる応札も活発化し、
高価格車の他、良質な低価格車の
売買も積極的に行なわれており、
今後に期待がもてます。

当商組としてユーザーに対し、
良質な中古車を安定かつ継続的に
供給するため、営業力を強化する
と共に、インターネットを利用し
たライブシステムを積極的に導入・
活用し、効率的で公正な市場と組
合組織の強化に努め、事業拡大と
収益確保を図っていく所存です。
本年も関係機関各位のご指導、
ご協力をお願い申し上げます。



北から南から

全国の組合情報

長野県

創業支援事業を実施

「協同組合長野駅前商店会」では、創業意欲のある人に商店会が所有するビルの空スペースを貸し出し、専門家の指導を受けながら事業にチャレンジしてもらう「駅前塾創業長屋」を実施している。

駅前塾創業長屋は、起業家の育成と市街地の活性化が狙い。地下一階、地上五階のビル内に、チャレンジショップ五区画とSOHO十七区画（SOHOは、三月上旬開設予定）を設け、意欲のある人に貸し出している。

出店者には、経営セミナーのほか、商店会員を交えた相談会や懇談会を定期的に開きサポートを行い、最終的には、市街地への独立出店に結びつけていく考え。

埼玉県

技術交流会を実施

「埼玉スクリーン印刷匠協同組合」では、定期的に「技術交流会」を開催。参加組合員同士で、自社製品を持ち寄るなどして、親睦を深めている。

印刷業界は、メディアの多様化により、取り巻く環境は厳しいが、色彩豊かで効果的な表現を得意としているスクリーン印刷は、付加価値が高い印刷技法として注目されている。

スクリーン印刷は、駅の券売機のパネルや大型の横断幕、工業製品の部品など多種多様なものに印刷できるので、参加組合員にとっては、この技術交流会の場が、己を知ることのできる良い機会となっており、自社技術向上にも繋がっている。

京都府

空き店舗を活用し、子育て支援

「京都三条会商店街振興組合」では、空き店舗を利用した子育て支援事業を実施している。

子育て支援事業は、京都商店連盟創立六十周年記念事業の一環。同商店街の周辺には、近年マンションの建設が進み、若い世帯が増えていることから、孤立しがちな若い母親らを支援するため、「交流の場」として提供している。

同商店街と交流のある平安女学院短大らの学生が保育士役を務め、毎週末、保護者と幼児を対象に「子育て広場」を開き、人形劇やゲーム、本の読み聞かせを行うほか、近くの保育園の関係者を招き、子育てについて相談も行う。広場は、二月まで開催予定。

香川県

ショッピングバスで街を活性化

「高松丸亀商店街振興組合」では、JRなど公共交通機関が集まる「サンポート高松」と商店街の間を周回するショッピングバス「MACHI—BUS（まちバス）」を運行している。

まちバスは、同商店街の単独運行。行政から補助を受けず実施している全国でも珍しい取り組み。

運行時間は、毎日午前九時半から午後七時半まで、二十五分間隔で運行。運賃は百円で、商店街の駐車券を運賃の支払いにも利用できる。

高松市内の賑わいの中心であるサンポート高松とのアクセスを向上することで、中心市街地の活性化と郊外店への対抗を図る。

ここに掲載した情報は、全国中央会が全国の組合等に関する情報を収集・編集した「地域組合情報」より抜粋したものです。

詳細情報をご希望の方は、本会情報課までご連絡ください。

受注・売上は堅調に推移

11月分の報告より

業界 WEATHER

全体 10月 → 11月 前年同月比

製造業		窯業・土石製品		非製造業		サービス業	
食料品		機械・金属		卸売業		建設業	
繊維・同製品		その他の製造業		小売業		運輸業	

概況

製造業は、受注・売上は堅調に推移しているが、一部業種で大手企業のリストラ発表により先行き影響を懸念する声も。非製造業は売上が増加するところもあるようだが、販売価格低迷等により収益は厳しい。

食料品	小麦粉は、乾麺・生めん等のお歳暮需要もあり麺需要は全体に好調、一方、パン需要は減少が続く。漬物は、中国・韓国産キムチの寄生虫問題で、国産キムチの安全性をPR。酒造は、純米酒や吟醸酒などが好調。
繊維・同製品	桐生は、七五三需要も見受けられたが、全体に受注は低調。伊勢崎は、銘仙で新規取引があるも受注は前年並み。繊維製品は、加工単価が下げ止まるも、売上はやや減。ニットは、冬物生産が盛り上がりなく低調。
窯業・土石製品	生コン出荷量は、北関東自動車道や八ツ場ダム建設の公共工事により需要が伸び、前年を上回った。コンクリート製品も、公共工事の受注増により売上は増加。ブロックは、受注が伸びず売上は前年並みに推移。
機械・金属	全体に受注量は安定しているが、原材料・原油価格の高止まりやコストダウン要請もあり、収益状況は厳しさが続く。電機機器・輸送機器関連では、大手企業のリストラ発表で下請業者への今後の影響が憂慮される。
その他の製造業	原木市場は、スギ・ヒノキの並材で売れ足が早く、入荷も追いつかず品薄状況が続く。全体的に入荷量は少なく、相場は上昇。段ボール関係は、材料価格が高値で推移し収益状況は厳しい。印刷は、繁盛期で受注増。
卸売業	全体に需要低迷により売上の減少が続く。販売単価の低迷、メーカーや小売業者の新規参入により厳しい経営環境が続いている。生鮮野菜は、全体的に入荷・取引ともに順調、果実も品質がよく安定な取引が続く。
小売業	家電は売れ筋の薄型テレビの価格低下が顕著で、全体に売上は伸びず低調。中古車は、全体に良質な中古車が少ないことから取引が伸びず、売上は低調。商店街は、恒例の並びず講市も売上増加には結びつかず低調。
サービス業	温泉旅館は、新潟中越地震の影響もあった昨年に比べ、全体に宿泊客数は好調。自動車整備需要は、整備入庫台数が低調。不動産は、土地取引は前年並みに推移するも、耐震強度偽装問題で、建物取引停滞を懸念。
建設業	全体に受注量が少なく売上の減少が続く。アスベスト、耐震強度偽装問題と続き、業界全体のイメージダウンを懸念。電気工事は材料費上昇で収益は厳しい。塗装工事は、手形割合が増えるなど取引条件で厳しさも。
運輸業	自動車関連や建築資材関連の荷動きが見受けられたが、総じて荷動きは低調に推移している。燃料価格も高騰が続いていることから、得意先への運賃値上げ交渉をするも進展せず低迷が続く、収益状況は厳しい。

県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 87.8(前月比▲2.8%)「県統計課・10月」
- 販売電力量 133,647万KW/H(前年同月比101.6%)「東電群馬支店・10月」
- 住宅着工戸数 1,774戸(前年同月比108.5%)「県建築住宅課・10月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規1.91倍:有効1.44倍「群馬労働局・10月」
- 大型小売店販売額 239億円(前年同月比99.5%)「経済産業省・10月」
- 消費者物価指数 97.9(前年同月比▲0.4)「県統計課・10月」
(鉱工業生産指数・消費者物価指数は12年=100とした指数)

新年会

■新年会のご案内

群馬県中央会
本会では、会員の皆様のご繁栄と団結強化を図るため恒例の新年会を左記の通り開催致します。

多数のご出席をいただきますよう、お願い申し上げます。

- ・開催日 一月十九日(木)
- ・場所 前橋商工会議所会館
- ①新春講演会

午後一時三十分～二時五十分
・テーマ

二〇〇六年日本経済の行方
・講師

三菱UFJリサーチ&コンサルティング
サルディング株

投資調査部長 嶋中雄二氏
②懇親会

午後三時～四時三十分
・会費 一人 五千円

※お申込みは、本会総務課まで。

講演会

■労働法講演会のお知らせ

群馬県労働委員会
群馬県労働委員会では、労働委

員会創設六十周年記念「労働法講演会」を開催致します。

・日時 一月二十六日(木)

午後三時十五分～

・会場 ウェルシテイ前橋

・講師 東京大学名誉教授・明治大学法科大学院教授

菅野和夫 先生

・費用 無料

・定員 百五十人(先着順)

※お申込みは、群馬県労働委員会事務局(☎〇二七―二二六―二七八三)まで。

融資

■季節資金融資のご案内

群馬県

群馬県では、資金需要期における中小企業者等の金融円滑化を図るため、中小企業季節資金の融資を実施しています。

・対象者 継続して一年以上の事業実績を有する中

小企業者

・資金使途 短期の運転資金

・利率 年一・九％
(信用保証付年一・五)以内

・限度額 一千万円以内

・融資期間 五ヵ月以内

・申込期限 一月三十一日(火)迄

※詳細は、商政課(☎〇二七―二二六―三三三二)まで。

届出

■法定調書の提出は一月三十一日まで

関東信越国税局

給料、報酬、料金、利子、配当などの支払者は、支払先の住所、氏名、支払金額などを記載した書類(法定調書)を税務署に提出することになっています。

この法定調書は、その年中の支払分を取りまとめて作成し提出するもので、提出期限は、利子、配当などの一部を除き、支払った年の翌年の一月三十一日となっています。

期限に遅れないよう、提出して下さい。

一月の金融相談所スケジュール

◆商工中金前橋支店
午後一時～午後三時

◆太田商工会議所
一月四日、十一日、十八日、二十五日

編集 後記

▼新年明けましておめでとうございませう。三位一体改革により、中央会も今年が新たな出発の年と考えるべきだと思います。十八年度より、これまでの国庫補助金が廃止され、県にすべてが委ねられます。暮には公務が多忙の中、小寺知事に時間を割いて頂きました。曾我会長はじめ本会三役にも多忙な時間を割いて頂きました。誠に有難いことだと思えます。今年は中央会創立五十周年の節目の年ですが、併せて新たなスタートの重要な年です。

▼耐震強度偽装問題が大きな波紋を広げています。建設に関わった事業者のモラル低下が指摘されていますが、熾烈な受注合戦が生む行き過ぎたコストダウン競争がもたらした悲劇という一面も無視できません。他にも昨年は、経営再建中の大手企業の粉飾決算、大手生保の保険金不払い問題など経営のモラル低下が招いた不祥事が続出し、企業倫理というものが改めて問われています。又、株の大量発注ミス問題では、危機管理の重要性を改めて知らされました。

▼景気は緩やかながらも着実な回復が続いており、いよいよデフレ脱却かと、先行きへの期待感が高まっています。本号の特集で業界リーダーの方々より年頭所感をいただきましたが、慎重な中にも今年こそ、という意気込みが感じられます。本会も新たな決意で頑張る所存ですので、よろしくお願い致します。